

ケアリング プラクシス

マーガレット ニューマン 拡張する意識としての
健康の理論と看護実践・研究・教育の革新

【編著】 キャロル ピカード ドロシー ジョーンズ

【監訳】 遠藤恵美子

A5 344 頁 定価 (本体 4,500 円+税)

理論的であることは、すなわち実践的である。

理論がケアリングあふれる実践を導き、探求への問いとなり、変革のプロセスに結びつく…そんな理論研究 実践の統一体をプラクシス praxis と呼ぶ。

M.ニューマン健康の理論に基づくプラクシスの事例を伝える。多彩な事例と典型例。読者は、進化するニューマン理論の革命性に心躍らせることであろう。

著名な理論家、M.ニューマン、J.ワトソン、C.ロイの 3 人が、ケアリングと理論の将来について語り合った記録が収録されているのも興味深い。



ISBN978-4-902630-20-6

【主要目次*】

序 マーガレット ニューマン I.看護学の核心—1章 人間の健康体験におけるケアリング 2章 看護学への貢献 3章 看護倫理とケアリング II.ケアリング プラクシス—4章 終末期ケアにおける拡張する意識としての健康 5章 術前外来でのケアリングの創造 6章 理論的であるということはすなわち実践的である 7章 家族の健康支援 8章 ニューマン理論に基づく地域貢献のプラクシス 9章 認知症と共に生きる人々のリズムとパターン 10章 ケア環境創造の看護管理戦略 III.プラクシスとしての研究—11章 芸術的表現とパターン認識 12章 双極性障害の子供の両親のパターン認識 13章 アクションリサーチチームの創出 14章 多発性硬化症と共に生きる女性たちの人生パターン IV.教育—15章 精神看護教育のプラクシス 16章 大学院高度実践看護コースでのパターン認識能力育成 17章 救命救急場面におけるケアリングの典型例 V.対話と会議—18章 M.ニューマン、J.ワトソン、C.ロイとの対話 19章 理論をめぐる対話集会 20章 拡張する意識としての健康の理論の影響、まとめ (*限られたスペースに収めるために一部要約した表現に変えています)

■監訳者 (えんどう えみこ) : ニューマン理論・研究・実践研究会会長、武蔵野大学看護学部特任教授

■訳者 : 遠藤恵美子 小笠原利枝 千崎美登子 高木真理 坪井 香 永井庸央 松原康美 (2013.4)

★書店でお買い求めください。専門書店以外では棚にない場合が多いと思いますが、お取り寄せは必ず可能です。

★直接注文も承ります。代金後払、振替用紙(払込料金小社負担)同封にて直送します(送料:200円、2冊以上同時注文は無料)。

FAX、電話、Eメール chumon@spica-op.jp 等でお申し付けください。小社ホームページでもご案内しています

裏面を注文票としてご利用ください。

【注文票】 *書店を通される場合にも本票を利用されると確実です。ご利用の書店にお渡しください。

すぴか書房 宛 FAX 048-464-8336

書名	キャロル ピカード ドロシー ジョーンズ 編著 遠藤恵美子 監訳		
	ケアリング プラクシス マーガレット ニューマン 拡張する意識としての健康の理論と 看護実践・研究・教育の革新 定価 (本体 4,500 円 + 税) ISBN978-4-902630-20-6	冊 注文します	
発行所	すぴか書房 〒351-0114 和光市本町 2-6 レインボープラザ 602 TEL 048-464-8364 Eメール chumon@spica-op.jp	日付	月 日
お客様 (お届け先)	ご住所 〒		
	フリガナ お名前	電話 FAX	Eメール:

【備考欄】

* 小社へのメッセージ、出版活動へのご意見・ご希望などの通信欄として自由にお使いください。また、関心のあるテーマについてお聞かせいただけましたら幸甚に存じます。